



生涯学習センターまつり開催!



生涯学習だより

問 教育課 生涯学習係
☎(83)7021



コロナ感染症による自粛生活から、「マスク着用は個人の判断」となり、5月3日に「生涯学習センターまつり」を開催! 晴天に恵まれ、青空広場を中心に、おいしい食べ物の販売や大道芸、国際交流、日本舞踊、ゲームコーナーなど、にぎやかにイベントが繰り広げられました。



射的コーナーでは、狙いを定めて…「当たり!!」。売り子は、寺子屋まつだの小学生と中学生の皆さんです。



大道芸人 AXEL翼さんの芸に来場者の皆さんから、大きな声援が!

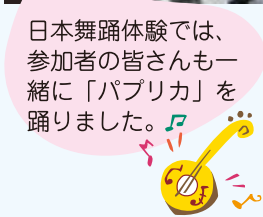


ドキドキのリードクライミング!



和菓子をいただき茶道体験!

国際交流では、町のALTの方とカードゲームをして楽しみました。



日本舞踊体験では、参加者の皆さんも一緒に「パブリカ」を踊りました。



パンやケーキ、カレーやちまき、野菜などの販売に、キッチンカーも登場!おいしい匂いと楽しそうな笑顔が会場いっぱいにあふれていました。

松田 文化財探訪

松田の関東大震災 その2

文化財保護委員 桐生 海正

「延命之泉」

松田町役場の入口の脇に「延命之泉」と「碑」があるのをご存知でしょうか。恥ずかしながら、私は度々町役場を利用していきながら、その存在には全く気が付きませんでした。私がこの泉と碑の存在を知ったきっかけは、タウンニュース足柄版二〇二二年九月三日号の「碑が伝えるものを考えた」を読んでからでした。少しずつ震災について調べ始めていた私にとって、この泉と碑が関東大震災にまつわるものだと、まさに「灯台下暗し」でした。それからというもの、目に留まった碑や石造物などは極力つぶさに観察するよう心がけています。

さて、この碑には、碑の建立当時、松田町長だった平野興二氏のせん文が刻まれています。碑には、震災の時に、町民の多くが飲料水の枯渇に苦しんだため、延命寺沢の湧き水を取り入れ、飲料水として利用したとあります。この泉から流れ出る水は、それを復元し、災害非常用の飲料水として確保したものだといえます。



「延命之泉」と「碑」